Hyper S-Stage KIT B Type 取扱説明書

ノーマル５０ｃｃのシリンダーヘッドを使用したままで８８ｃｃにボアアップが出来、ＨＥＡＶＹなエンジンフィーリングが体験出来るキットをＮＥＷリリース。プラモデル感覚でＥＡＳＹに組み上げて、楽しみながらエンジン構造の勉強が出来るストリートユースキットに仕上げました。

商品番号　０１−０５−００８３
モンキー／ゴリラ　Z50J-1600008〜1805927

・このたびは、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

⚠使用燃料についてのご注意⚠

ＳステージＫＩＴは､ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので､燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。ＫＩＴ取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

⚠スパークプラグについてのご注意⚠

スパークプラグは必ずキット内のもの(ＣＲ８ＨＳＡ)に交換して下さい。その後にスパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

⚠スプロケットについてのご注意⚠

この製品を取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり､エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。キット内のドライブスプロケットを使ってドリブンスプロケットを決定し、スプロケットハイギアー化を行って下さい。
※ドリブンスプロケットはキット内に含まれておりません。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型２輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付２種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎この製品のシリンダーおよびシリンダーヘッドガスケットは純正のサイズと比べ、厚みが異なります。純正品を含め、他社製品との組み合わせは出来ませんのでご注意下さい。又、補修部品は弊社製品をご使用下さい。
◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎この製品のシリンダーはノーマルキャブレターが干渉します。ノーマルキャブレター取り付けの際には干渉部分を加工して下さい。
◎ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックスおよび、エアクリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり、重大な事故につながる恐れがあります。
◎この製品のフィルターを取り付けての雨天走行は出来ません。エンジン不調の原因となりますのでご注意下さい。

⚠注意　この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
※シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

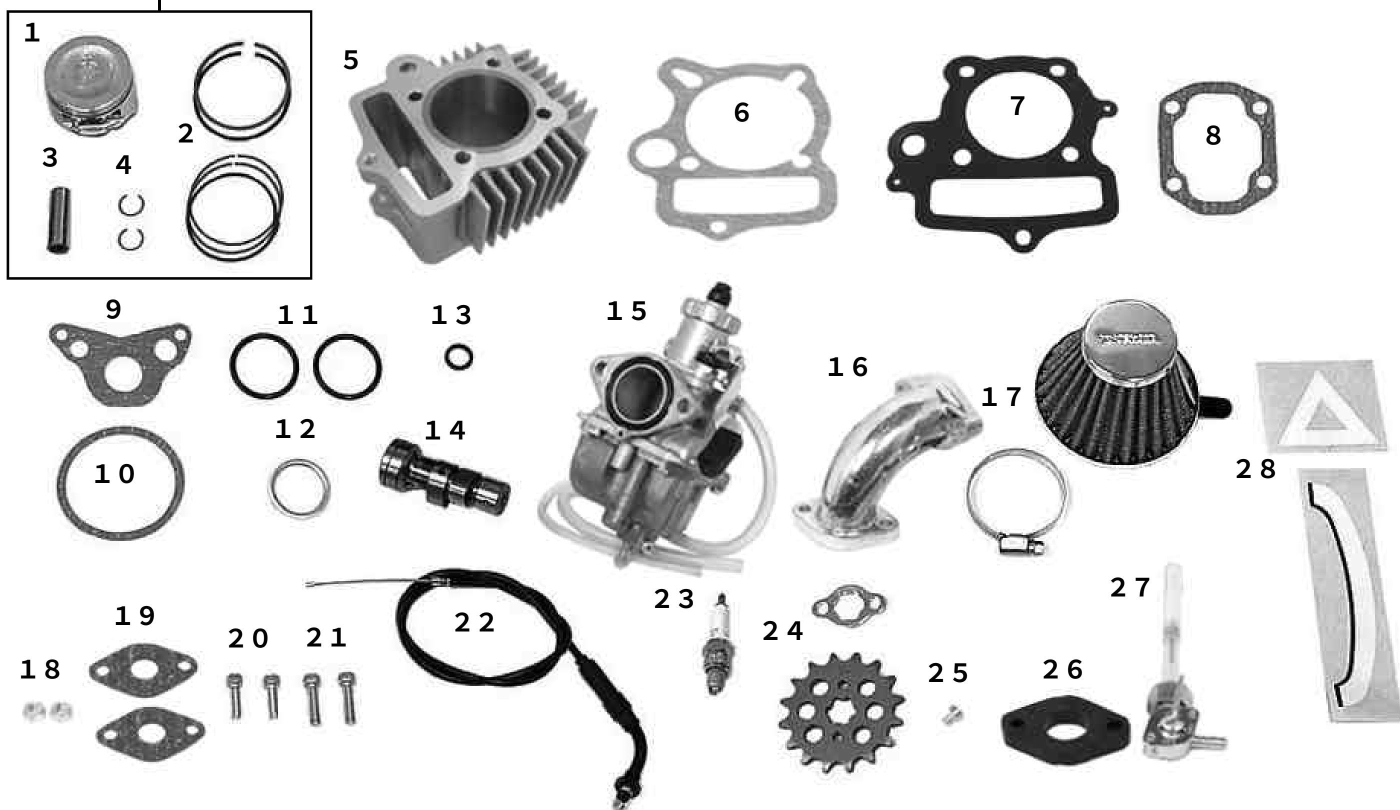
◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、商品お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

Lesson

◇普通、ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まります。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まず指で締まるところまで締めましょう。１～２回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から反時計方向へ３～４回転回すことをいい、取り外すということは反時計方向へネジが取れるまで回すことをいいます。
◇ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにすることをいいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみて下さい。但し、弊社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

◇キット内容

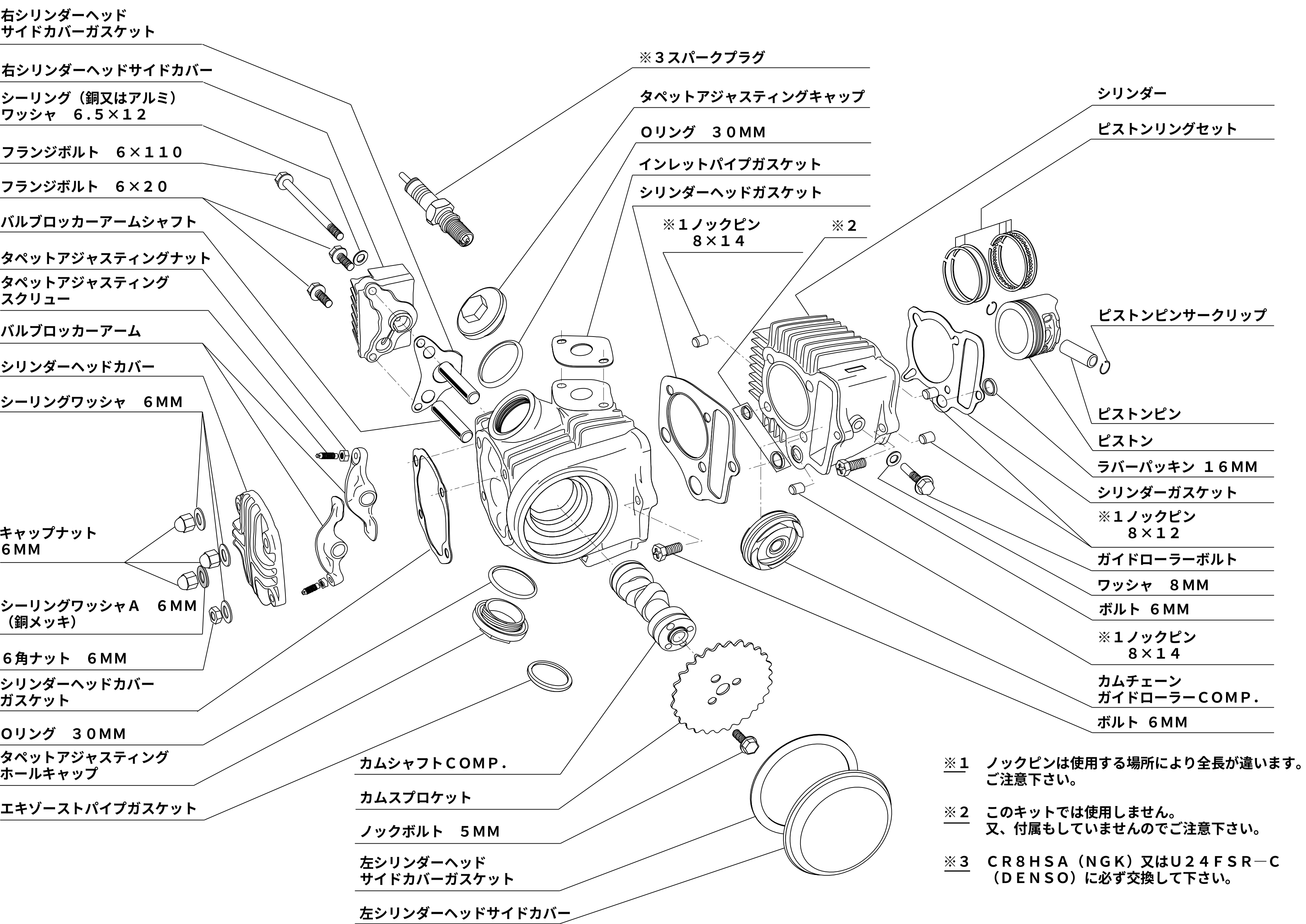
０１－０２－５１７
ピストンキット



番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数	番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
１	ピストン	１	１３１０１－ＮＳＨ－Ｔ００	１	１５	ＶＭ２２キャブレターＡＳＳＹ.	１	０３－０３－００６０	１
２	ピストンリングセット	１	０１－１５－０１４	１	１６	インテークマニホールド	１	１７１１１－ＧＥＦ－Ｔ１０	１
３	ピストンピン　１３×３６	１	１３１１１－ＧＥＦ－Ｔ００	１	１７	エアーフィルター（バンド付）	１	０３－０１－１０６	１
４	ピストンピンサークリップ	２	００－０１－０００３	６	１８	ロックナット　６mm	２	００－００－０１２１	１０
５	シリンダー	１	０１－０１－０２４１Ｈ	１	１９	インレットパイプガスケット	２	００－０１－０１５９	２
６	シリンダーガスケット	１	００－０１－００６７	２	２０	ソケットキャップスクリュー　６×２５	２	００－００－００８９	１０
７	シリンダーヘッドガスケット	１	１２２５１－ＧＦＬ－Ｔ１０	１	２１	ソケットキャップスクリュー　６×３０	２	００－００－００９０	１０
８	シリンダーヘッドカバーガスケット	１	００－０１－０１５６	２	２２	スロットルケーブル　７１０mm	１	０９－０２－００７１	１
９	右サイドカバーガスケット	１	００－０１－０１５７	２	２３	スパークプラグ　ＣＲ８ＨＳＡ	１	――――――	＼
１０	左サイドカバーガスケット	１	００－０１－０１５８	２	２４	ドライブスプロケット（プレート付）１５Ｔ	１	０２－０５－０４１	１
１１	タペットキャップＯリング	２	００－０１－００３４	４	２５	メインジェット　＃１０５	１	００－０３－０１８５	１
１２	エキゾーストパイプガスケット	１	００－０１－００６４	２	２６	インシュレーター	１	００－０３－００１０	１
１３	ラバーパッキン（ブラック）	１	００－０１－００６９	２	２７	フューエルコック	１	０３－０３－００１	１
１４	カムシャフト	１	０１－０８－０３４	１	２８	原付２種マークセット	１	――――――	＼

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
　尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

各部品名称



※１　ノックピンは使用する場所により全長が違います。
ご注意下さい。

※２　このキットでは使用しません。
又、付属もしていませんのでご注意下さい。

※３　ＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）又はＵ２４ＦＳＲ－Ｃ
（ＤＥＮＳＯ）に必ず交換して下さい。

ＳＴＤ部品取り外し

１．シートを取り外す



◇サイドカバーを取り外す。





◇シート下のナットを緩め、ボルトを取り外す。
使用工具
ボックスレンチ　１２mm
エクステンションバー　小
オフセットレンチ　１０mm

◇リアショックのナット２個を緩める。
使用工具
オフセットレンチ　１４mm



◇シートを後方に引いて取り外す。

２．フューエルタンクを取り外す



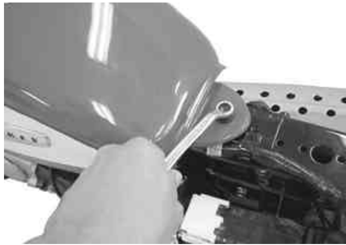
◇フューエルコックをＯＦＦにする。



◇フューエルコックをフューエルタンクから取り外し、キットの物を取り付ける。
使用工具
スパナレンチ　１９mm



◇チューブクリップをずらし、キャブレターのフューエルチューブの接続を外す。



◇フューエルタンクをフレームにとめているボルトを取り外す。
使用工具
オフセットレンチ　１０mm

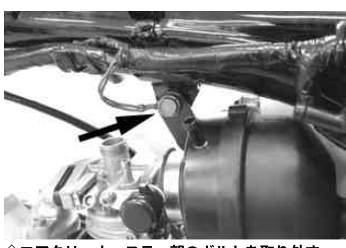


◇フューエルタンクを後方に引いて取り外す。

３．キャブレターを取り外す



◇キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取る。



◇エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。
使用工具
ボックスレンチ　１０mm
エクステンションバー　小



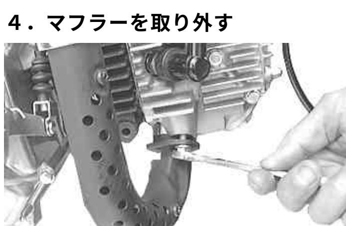


◇インレットパイプをシリンダーヘッドにとめているボルト２本を取り外しインレットパイプ、キャブレター、エアクリーナーを取り外す。
使用工具
オフセットレンチ　８mm



◇ワイヤーハーネスをフレームの下側になるように移動させる。

４．マフラーを取り外す



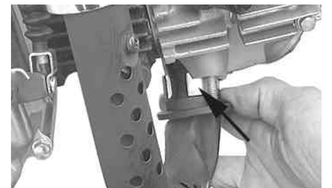
◇ＥＸパイプ部のナット２個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
スパナレンチ　１０mm



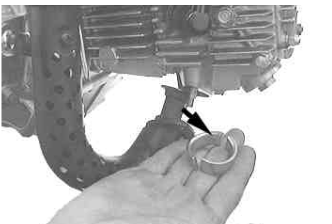
◇マフラー本体を止めている６角ボルトを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
ボックスレンチ　１２mm
エクステンションバー　中



◇マフラー本体裏側に止まっているナットを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
ボックスレンチ　１０mm
エクステンションバー　中



◇フランジのカラー２個を取り外し外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。



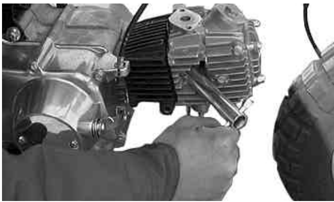


５．フロントフェンダーを取り外す



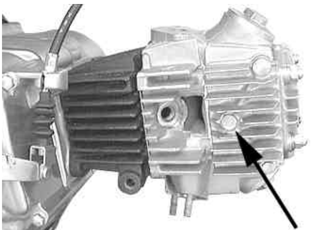
◇フロントフェンダー裏側の６角ボルト２本を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
ボックスレンチ　１０mm
エクステンションバー　小

６．スパークプラグを取り外す

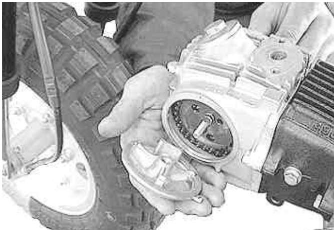


◇プラグキャップをプラグから引っ張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外して下さい。
◇車載工具のスパークプラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。

７．シリンダーヘッド左カバーを取り外す



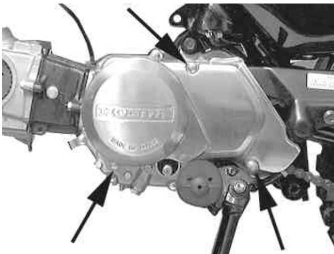
◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の６角ボルトを外すと左カバーが外れる。(ボルトを外しても外れない場合６角ボルトを２～３山ねじ込み６角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる）
使用工具
ボックスレンチ　１０mm



８．クランクケース左カバー取り外す



◇シフトペダルの６角ボルトを外しシフトペダルを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
オフセットレンチ　１０mm



◇クランクケース左カバーを止めているスクリュー３本を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
ドライバープラス　大

９．タペットキャップ２個を取り外す



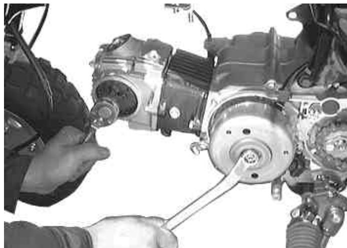
◇タペットキャップ２個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
オフセットレンチ　１７mm

１０．カムスプロケットを取り外す





◇フライホイールのＴマークとカムスプロケットのＯマークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。

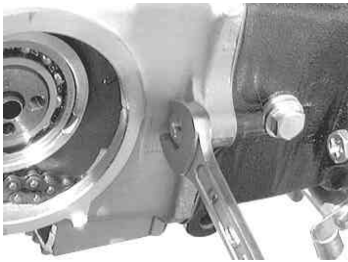


◇フライホイールを固定しカムスプロケット６角ボルト２個を反時計方向に回し取り外す。
使用工具
ボックスレンチ　8mm
オフセットレンチ　１4mm（フライホイール固定用）



◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外す。
◇カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。
◇カムシャフトの中心部にはまっているノックピンを外す。

１１．シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す



◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。
使用工具
スパナレンチ　１０mm

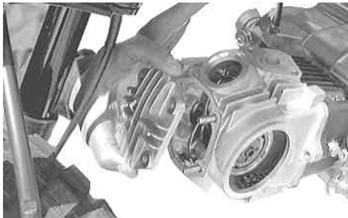


◇シリンダーのガイドローラーボルトとシリンダーとクランクケース間のサイドボルトを反時計方向に回し緩める。
使用工具
スパナレンチ　１０mm
オフセットレンチ　１０mm

１２．シリンダーヘッドカバーを取り外す



◇シリンダーヘッドカバーを止めているナット４個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。
◇ナット下にあるワッシャ４枚を取り外す。
使用工具
ボックスレンチ　１０mm



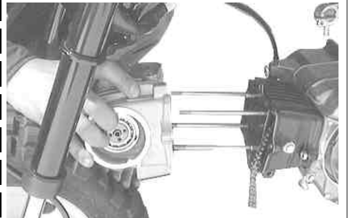
◇ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す）シリンダーヘッドにガスケットが残った場合は、スクレーパーかカッター等できれいに取り除く。

１３．シリンダーヘッドを取り外す

◇フロントタイヤの空気を抜く。(プラスドライバーの先などでバルブを押すとエアが抜けますのでシューという音がでなくなるまで押し続けます。)

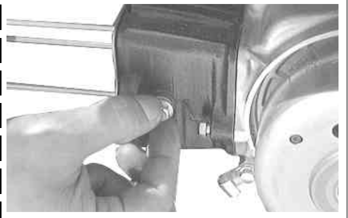


◇シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッドをプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す）

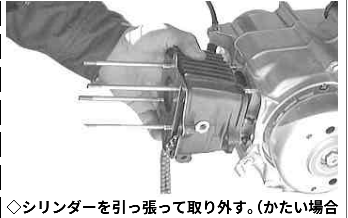


◇フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを取り外す。ここでタイヤの空気を抜いた訳をご理解いただいたと思います。
◇ノックピン２個は再使用するので取り外しておく。

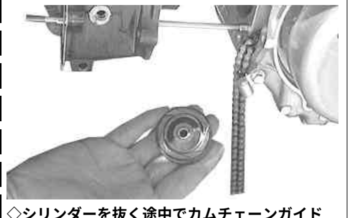
１４．シリンダーを取り外す



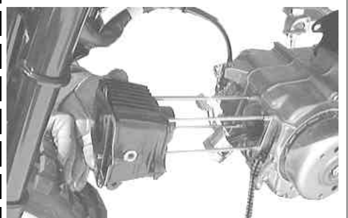
◇緩めておいたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外す）

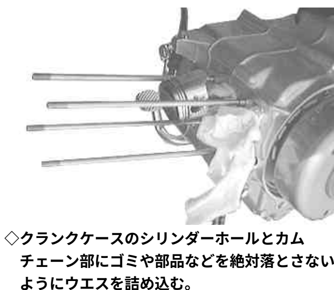


◇シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドローラーが出てくるので取り外す。



◇ピストンが抜けたらタイヤを手で押さえながらシリンダーを前方へ取り外す。

１５．ピストンを取り外す



◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウエスを詰め込む。



◇ピストンサークリップの片側を取り外す。
ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。
使用工具
先の細いマイナスドライバー

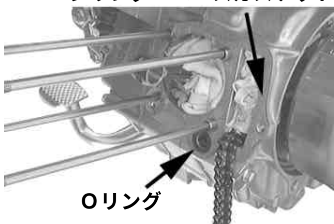


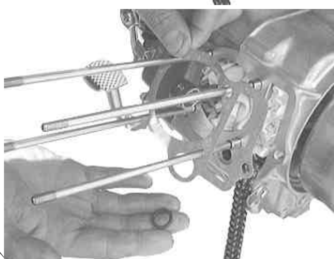
◇ピストンピンをピストンサークリップが付いていない方向へ取り外す。ピストンサークリップの付いている方向からマイナスドライバーで押してあげると簡単にとれます。



◇ピストンを取り外す。

１６．シリンダーベースガスケット・Oリングノックピンを取り外す





◇ガスケットがきれいにはがれない場合クランクケースにキズを入れないようにスクレイパーやカッターできれいにはがす。この時クランクケースセンターガスケットがシリンダーベース面やシリンダーホール部にはみ出ている場合は切り取っておく。
クランクケース内にゴミや部品などを絶対落とさないように。



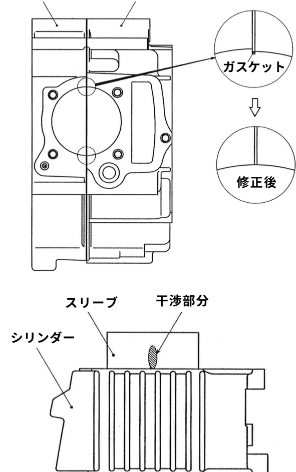
◇上写真の指さし部にはみ出ているガスケットがあれば切り取っておく。

シリンダー取り付け時の注意

左右クランクケースのズレ等により、シリンダーを取り付ける際、クランクケース合わせ面のスリーブ穴、丸印部分とシリンダースリーブの斜線部分及びケース内部で、干渉する場合があります。そのままの状態で使用するとスリーブが変形しエンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。
この作業は難易度は高いけれどチョット、プロの作業に近づいた感じはありますね。

修　正　要　領

１．クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰める。
２．クランクケース合わせ面のズレの出っ張っている部分を引っ込んでいる部分と同じ高さになるまでヤスリで削ります。
３．削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除く。
４．ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めておく。
５．キットの組立が終わってエンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換すればＯＫ。

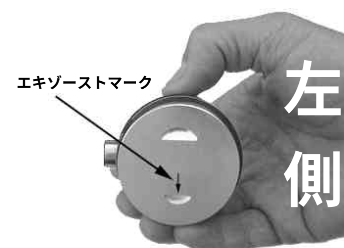


Ｓ－ＳｔａｇｅＫＩＴ 取り付け

１．ピストンを組み付ける

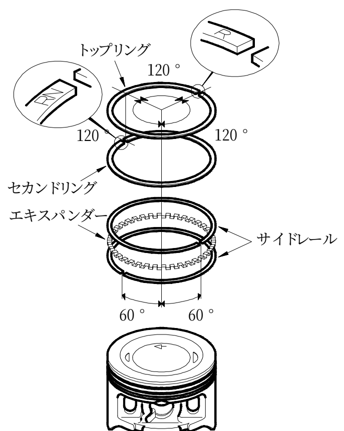


◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。
この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

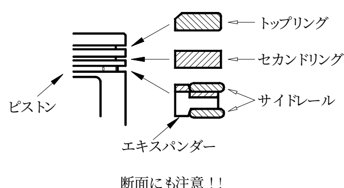


◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。
◇ピストンサークリップは左側を先にはめ込みます。
使用工具
先の細いマイナスドライバー
◇ピストンリングみぞにエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

◇ピストンリングの合い口をそろえる



トップリングの上面にはＲの刻印セカンドリングの上面にはＲＮの刻印があります。



断面にも注意！！





◇オイルリングエキスパンダーを入れる。



◇下オイルリングサイドレールを入れる。



◇上オイルリングサイドレールを入れる。



◇セカンドリングを入れる。

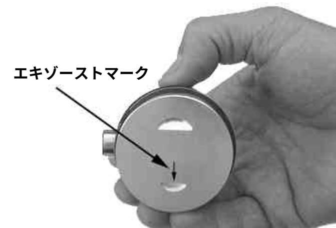


◇トップリングを入れる。

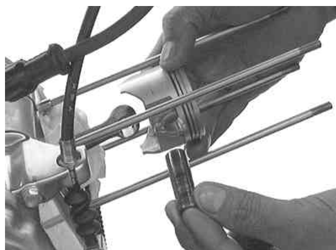




◇ピストンピン部とコンロッドにエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。



◇ピストンヘッド部三角マークの先を下（エキゾースト側）になるようにしてピストンを取り付ける。



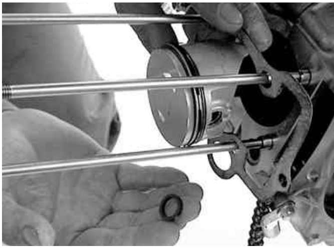
◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿入しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。
◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。



◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。
押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行って下さい。目に入らぬように防護めがねなどを着用して下さい。
◇詰めていたウエスを取り外す。

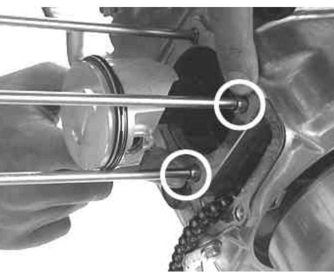
2．シリンダーの取り付け

◇シリンダーベースガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。





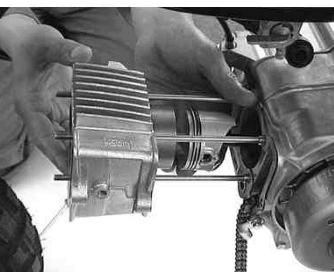
◇シリンダーベースガスケットとブラックのラバーパッキンを取り付ける。



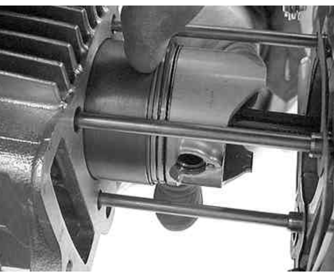
◇ノックピン２個が取り付いているか点検。



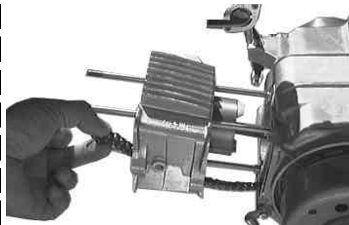
◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し指で均等に塗り広げる。



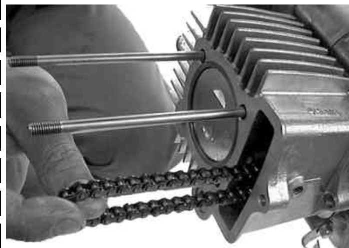
◇タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。



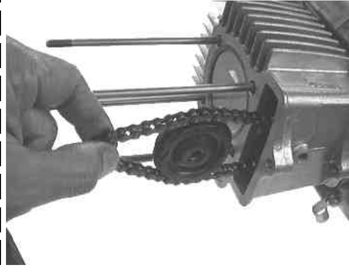
◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様にしながら指で押し少しずつはめる。
ここは難易度が高いです。がんばって下さい。



◇リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。

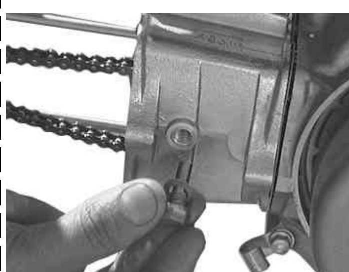


◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを付ける。





◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込む。

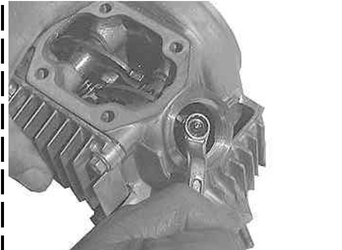


◇ガイドローラーボルトを取り付ける。
（指で閉まる程度まで仮止め）



◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。
（指でしまる程度まで仮止め）

3．カムシャフト交換



◇シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットナットとボルトを取り外す。
◇タペットナットを緩めた時点でタペットボルトをナットと一緒に取り外す。
使用工具
オフセットレンチ　９mm



◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



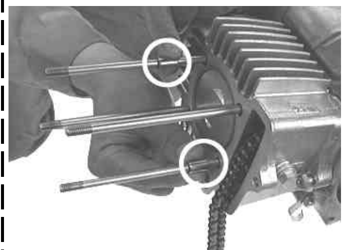
◇キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付ける。
カムシャフトのカム山とジャーナル部にきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。



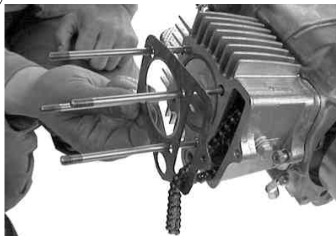
◇ロッカーアームのタペットスクリューを時計方向に回して取り付ける。

4．シリンダーヘッド取り付け

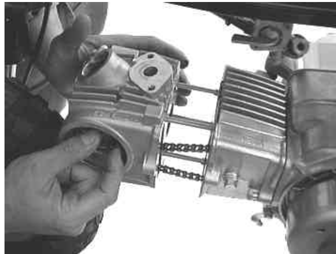
◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。



◇シリンダーにノックピン２個を取り付ける。



◇ヘッドガスケットを取り付ける。
※ラバーパッキン（ブラック）とラバーガスケット（グリーン）は使用しません。



◇タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタットボルトに通す。
◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付ける。



◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちない様にカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。

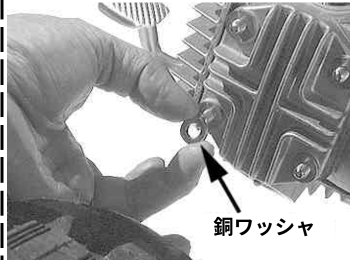


◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。

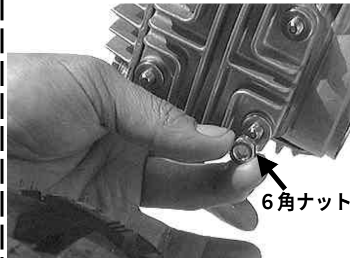


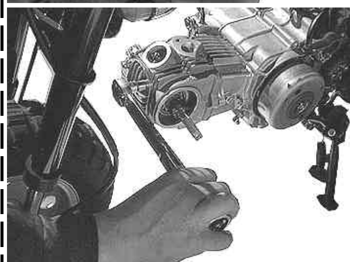
◇矢印は下の方向です。





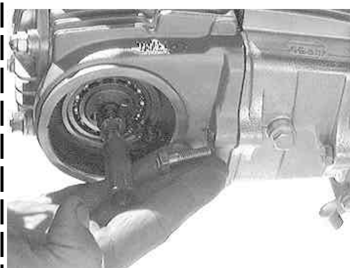
◇ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。（エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの３つは鉄ワッシャ、右下が６角ナット残りの３つがふくろナット）





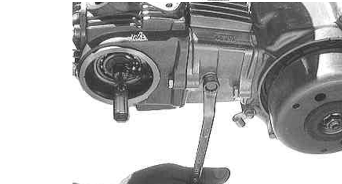
◇ヘッドナットを均等に締め付ける。
（トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める）
使用工具
ボックスレンチ　１０mm

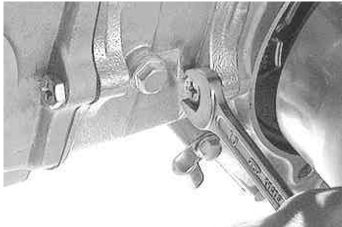
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）



◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。
使用工具
スパナレンチ　１０mm
オフセットレンチ　１０mm





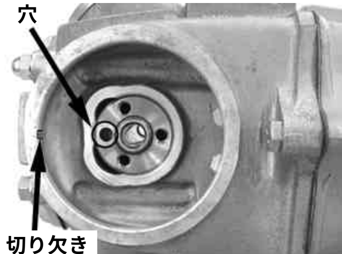


⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）
サイドボルト上下
１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

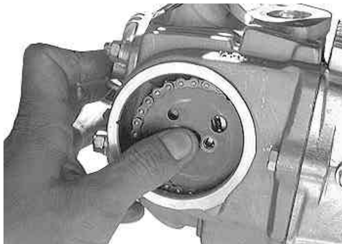
５．カムスプロケットの取り付け



◇フライホイールのＴマークをクランクケースの切りかき部に合わせる。



◇カムシャフトの穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向ける。それがカムシャフトの圧縮上死点です。
※オプションカム取り付けの場合、オプションカムの説明書の指示に従って下さい。



ここは難易度が高いです。がんばって下さい。
◇カムスプロケットをはめたあとはボルトを取りつける。カムチェーンにカムスプロケットをかけながらカムスプロケットのOマークとシリンダーヘッドの切り欠き部が合うようにカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。



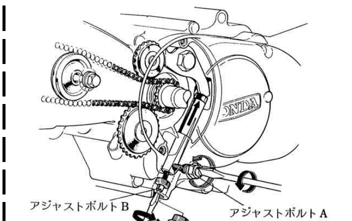


◇カムシャフトワッシャを取り付けます。
◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを２本締め付ける。
使用工具
ボックスレンチ　８mm
オフセットレンチ　１４mm

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：９Ｎ・ｍ（０.９ｋｇｆ・ｍ）

６．カムチェーンの調整

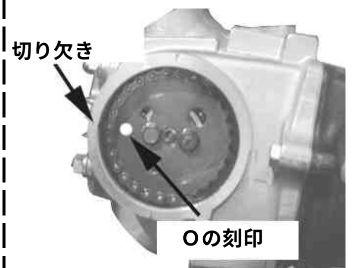
○カムチェーンの調整を行った場合は、「２３.点火タイミングの点検、調整」を行って下さい。



◇８mmナットを緩め、アジャストボルトＡを緩めれば、スプリングにより自動調整されますが、カムチェーンの張りが十分でない場合はアジャストボルトＡを緩めたままアジャストボルトＢを徐々に締め込み、フライホイールを回しても、カムスプロケットとのガタが無い程度に調整を行う。
◇アジャストボルトＡを締め込み、８mmナットを締め込む。

７．バルブタイミング調整とタペット調整

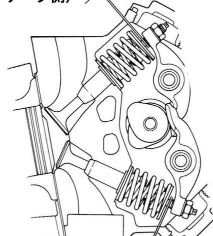
ここは難易度が高いです。がんばって下さい。

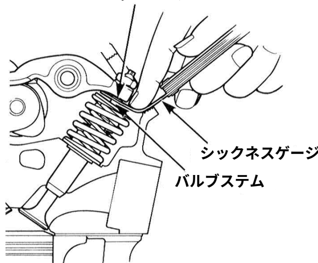


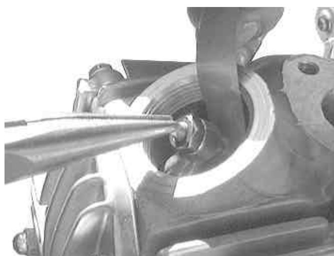


フライホイール側

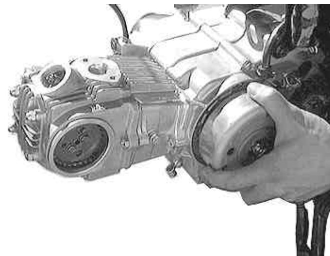
◇カムシャフトのOマークとフライホイールのTマークがそれぞれの切りかきに合う様にして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムスプロケットを取り付けてTマークとOマークが同時に合えばOK。







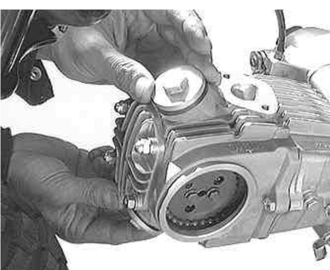
◇ロッカーアームのタペットスクリューを締め込んでいきタペットスクリューとバルブステムエンドの間に０．０５ミリのシックネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットナットを締め付ける（少し抵抗があるというのがわからない場合０．０７と０．０３のシックネスゲージを用意して０．０７がすき間に入らず０．０３がゆるゆるに入る様に合わせればだいたい０．０５ミリということになる）ＩＮ.ＥＸ共に０．０５ミリに合わせる。
使用工具
ニードルノーズプライヤ
オフセットレンチ　9mm
シックネスゲージ

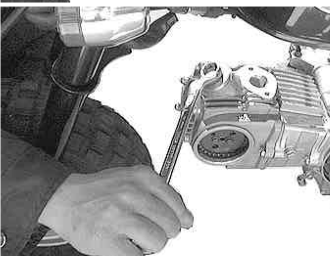


◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを２回転手で回した後でTマークとOマークを合わせる。



◇タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。





◇タペットキャップ２個を取り付ける。
使用工具
オフセットレンチ　１７mm

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

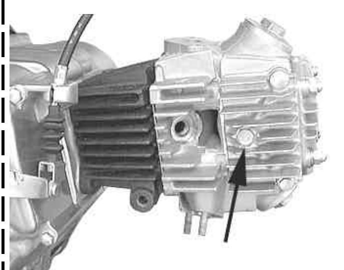
８．シリンダーヘッド左カバー取り付け

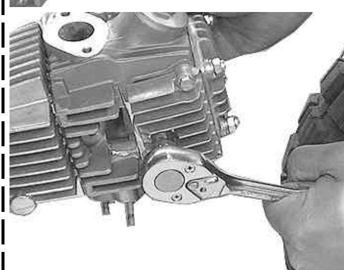


◇シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。
（左サイドカバーがボルトを締めたときに右回りしないように回り止めを合わせる）



（回り止めを合わせる）





◇シリンダーヘッド右側の６角ボルト（矢印）を締める。
使用工具
ボックスレンチ　１０mm

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

９．スパークプラグの取り付け



◇車載工具かスパークプラグレンチを使いプラグを取り付ける。
使用工具
スパークプラグレンチ

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１１Ｎ・ｍ（１.１ｋｇｆ・ｍ）

◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

１０．ノーマルマフラーの取り付け



◇マフラーは、先にテールパイプをリアショックの内側を通しフランジ部分をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持っていく。



◇フランジのカラー２個をエキゾーストパイプを挟み込むようにして取り付ける。



◇ＥＸパイプ部のナット２個を締める。（仮止め）
使用工具
スパナレンチ　１０mm

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



◇マフラー本体裏側にナットを取り付ける。（仮止め）
使用工具
ボックスレンチ　１０mm
エクステンションバー　中

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



◇マフラー本体を止めている６角ボルトを取り付ける。（仮止め）
使用工具
ボックスレンチ　１２mm
エクステンションバー　中

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：２６Ｎ・ｍ（２.７ｋｇｆ・ｍ）

◇仮止めの三カ所を締め付ける。

１１．フロントフェンダーを取り付ける



◇フロントフェンダー裏側の６角ボルト２本を締めて取り付ける。
使用工具
ボックスレンチ　１０mm
エクステンションバー　小

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

◇タイヤ空気を入れる

１２．スロットルケーブルの取り付け

◇ノーマルスロットケーブルのワイヤリングを外す。



◇６角ナットを緩める。
使用工具
スパナレンチ　１４mm



◇スクリュー２本を外し、アッパースロットルハウジングを取り外す。



◇スロットルパイプからスロットルケーブルのインナーケーブルを外す。



◇ロアスロットルハウジングからノーマルスロットルケーブルを取り外す。



◇キット内のスロットルケーブルをロアスロットルハウジングに取り付ける。



◇インナーケーブルをスロットルパイプに接続する。

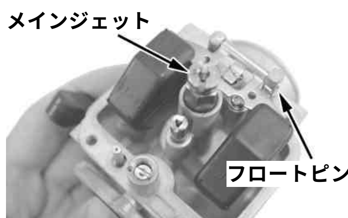


◇アッパースロットルハウジングを２本のスクリューで取り付ける。
※この時、前側のスクリューを先に締め付け、後側のスクリューを後に締め付ける。



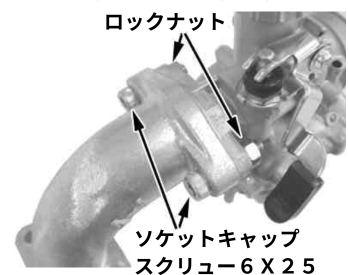
※ノーマルハンドルの場合、スロットルハウジングの分割部をハンドルの“Ｏ”マークに合わせる。
◇スロットルケーブルのワイヤリングをする。
◇６角ナットを締め付ける。
使用工具
スパナレンチ　１４mm

１３．メインジェットの交換



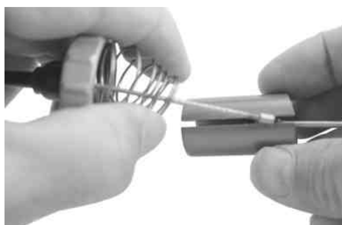
◇４本のスクリューを外してフロートチャンバーを取り外します。
使用工具
ドライバープラス　中
※フロートピンは外れやすいので注意して下さい。
◇メインジェットをジェットホルダーから取り外します。
◇キットのメインジェットを取り付けます。
使用工具
ドライバーマイナス　中
◇フロートチャンバーを取り付け、４本のスクリューでキャブレターに取り付けます。
※フロートチャンバーのドレーン部とクランクケースが干渉する為、ドレーン部をニッパー等で切断して下さい。

１４．キャブレターの取り付け

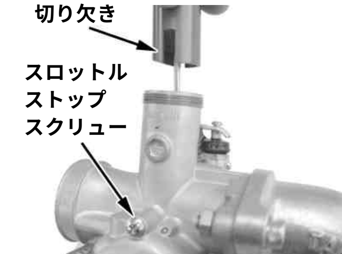


◇キャブレターとインレットパイプをソケットキャップスクリュー６Ｘ２５／ロックナット２セットで取り付ける。
使用工具
６角棒レンチ　５mm
スパナレンチ　１０mm

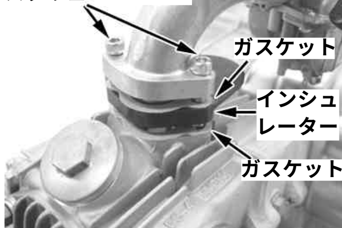
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



◇キャブレターのトップキャップを外し、スプリングとスロットルバルブを取り外す。
◇スロットルケーブルにトップキャップ、スプリング、スロットルバルブを取り付ける。



◇スロットルバルブの切り欠き部をキャブレターのスロットルストップスクリューに合わせ、取り付ける。



◇シリンダーヘッドにガスケット、インシュレーター、ガスケット、インレットパイプの順になるようにソケットキャップスクリュー６Ｘ３０ ２本にて取り付ける。
使用工具
６角棒レンチ　５mm

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

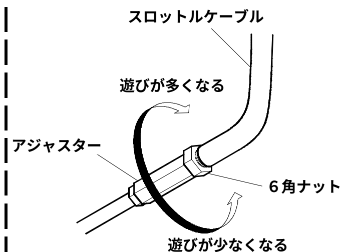
１５．スロットルの遊びの調整



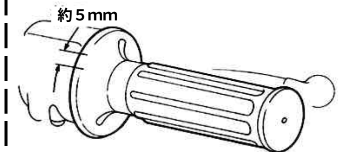
◇スロットルケーブルのブーツをめくり、アジャスターを出す。



◇６角ナットを保持し、アジャスターを緩める。
使用工具
スパナレンチ　８mm
スパナレンチ　１０mm

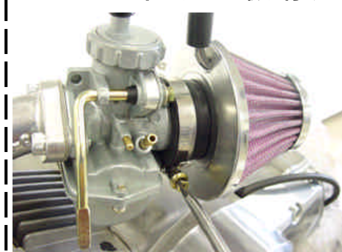


◇アジャスターを回すと遊びが調節出来る。



◇スロットルグリップ部で5mm程度の遊びになるように調整する。
◇アジャスターを固定し、６角ナットを締め付ける。
使用工具
スパナレンチ　８mm
スパナレンチ　１０mm
◇スロットルをスナップさせ、スロットルバルブがスムーズに動くか確認する。
◇ハンドルを左右にいっぱい切ってもスロットルに遊びがあることを確認する。
◇ブーツをかぶせる。

１６．エアフィルターの取り付け



◇バンドをエアフィルターに付け、キャブレターに差し込む。バンドを締め付ける。

１７．フューエルタンクの取り付け



◇フューエルタンクをフレームに取り付ける。



◇フューエルタンクをフレームにボルトで取り付ける。
使用工具
オフセットレンチ　１０mm

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

１８．シートの取り付け



◇リアショックの２枚のワッシャの間にシートステーのフックを差し込み、取り付ける。





◇シート下にボルトを差し込み、ナットを取り付ける。
使用工具
ボックスレンチ　１２mm
エクステンションバー　小
オフセットレンチ　１２mm

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：２２N・m（２.２kgf・m）



◇リアショックのナット２個を締め付ける。
使用工具
オフセットレンチ　１４mm

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：３４N・m（３.５kgf・m）



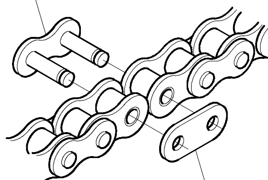
◇サイドカバーを取り付ける。

１９．ドライブ（エンジン側）スプロケットの取り付け



◇ドライブチェーンのクリップを取り外す。

マスターリンク



リンクプレート

◇リンクプレートとマスターリンクを取り外し、ドライブチェーンを取り外す。
※作業の際は必ずエンジンを停止すること。



◇リアブレーキをかけながらボルト２本を取り外す。
使用工具
ボックスレンチ　１０mm
エクステンションバー　小



◇プレートを取り外す。



◇ノーマルのスプロケットをシャフトから抜き、チェーンを取り外す。



◇キットのスプロケットをシャフトに差し込む。



◇キットのプレートを取り付け、ボルト２本を仮止めする。

２０．ドリブン（リアタイヤ側）スプロケットについて

※ドライブスプロケットの変更に伴い、ドリブンスプロケットも変更し、スプロケットのハイギア化を行います。
※ドリブンスプロケットはクラッチ形式やタイヤサイズによりかわりますが、下の表を参考にして下さい。
※ドリブンスプロケットはキットに含まれておりません。別途お買い求め下さい。

★ハイパーＳステージキットＢタイプの推奨スプロケット（体重６５ｋｇ時）

タイヤサイズ	クラッチ	ドライブスプロケット	ドリブンスプロケット	２次減速比
８インチ	ノーマル	１５	２５	1.67
	強化、スペシャル	１６	２５	１．５６
１０インチ	ノーマル	１６	２５	１．５６
	強化、スペシャル	１６	２８	１．７５

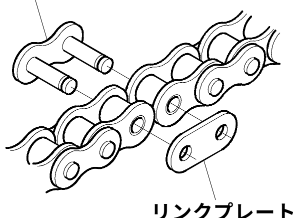
２１．ドライブチェーンについて

※ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンが足りない場合があります。その場合は別途ドライブチェーンを用意し、長さを調節する必要があります。また、スイングアームの長さによりチェーンの長さもかわります。下の表を参考にして下さい。
※作業の際は必ずエンジンを停止する事。

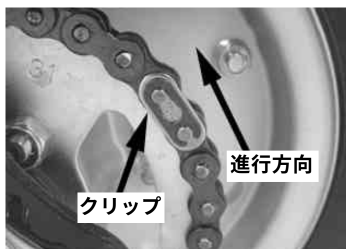
★スプロケットとチェーンのリンク数

ドライブスプロケット	ドリブンスプロケット	スイングアームの長さとチェーンのリンク数				
		ノーマル	４ｃｍロング	８ｃｍロング	１２ｃｍロング	１６ｃｍロング
１２(ノーマル)	３１(ノーマル)	７２(ノーマル)	－	－	－	－
１５	２５	７２	７６	８４	９０	９８
１６	２５	７２	７６	８４	９０	９８
１６	２８	－	－	－	９２	１００

◇エンジンから足廻りまで取り付けたボルト類に緩みがないかチェックする。
◇ドライブチェーンをドライブスプロケット、ドリブンスプロケットに取り付ける。



◇マスターリンクを内側から取り付けてドライブチェーンを接続し、リンクプレートを取り付ける。



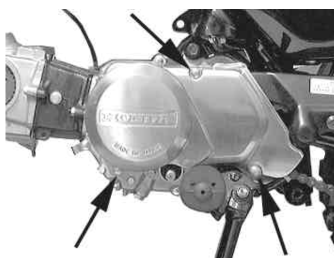
◇クリップを取り付けます。
※この時、クリップの合い口は進行方向に対して逆に向ける事。



◇仮止めしていたドライブスプロケットのボルトを本締めする。
使用工具
ボックスレンチ　１０mm
エクステンションバー　小

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

２２．クランクケース左カバーの取り付け



◇クランクケース左カバーを止めているスクリュー３本を取り付ける。
使用工具
ドライバープラス　大

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



◇チェンジペダルを取り付ける。
使用工具
オフセットレンチ　１０mm

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

◇エンジンから足廻りまで取り付けたボルト類に緩みがないかチェックする。



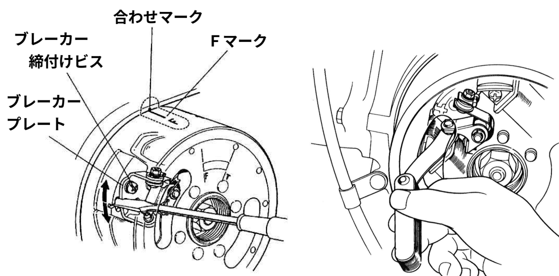
◇フューエルコックをＯＮにする。

２３．点火タイミングの点検、調整

◇点火タイミングがずれていると、本来の性能を発揮しない上に、重大な故障にもつながる恐れがあります。点火タイミングの点検と調整を行うことをおすすめします。
ご自分で出来ない場合は、バイクショップ等で点検することをお勧めします。



◇タイミングライト（００－０１－００９）を用いて、アイドリング時にフライホイールの‘Ｆ’マークとクランクケースの合わせマークとが合っているか確認する。



◇調整はブレーカー締付けビスを緩め､ブレーカープレートを少しずつ動かして行う。

◇調整を行った後に､クランクシャフトを回してポイントの隙間が一番開く位置に合わせ、シックネスゲージでその隙間を測定する。
ポイント隙間　０.３～０.４mm
範囲外の場合はポイントの交換をする。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ　０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ　http://www.takegawa.co.jp

キャブレターセッティング要領

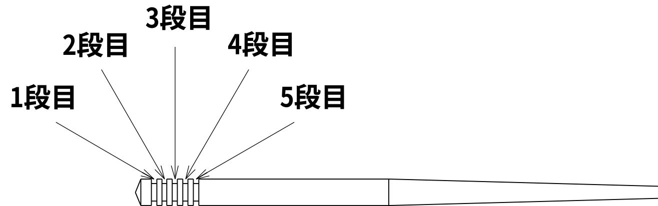
・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの２つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。（黒い） ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。（息付きをおこす） ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル　（スロットル開度１／４－３／４）

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか
・息付きをする場合、濃くして下さい。
・回転の上がりが重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。
この開度での混合比は、Ｅリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Ｅリング位置が１段目から５段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット　（スロットル開度３／４－４／４）

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
仕様等を考慮の上、最高回転数（最高速度）の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット　（調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。）

・エアスクリューの戻し量３．０回転以上の場合は、パイロットジェットを小さくして下さい。
・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
　パイロットジェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。（アイドル回転時）
・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。（アイドル回転時）
・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。（アイドリング時）
・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数（１．５回転）に合わせ、左右に１／４－１／２回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９　URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７